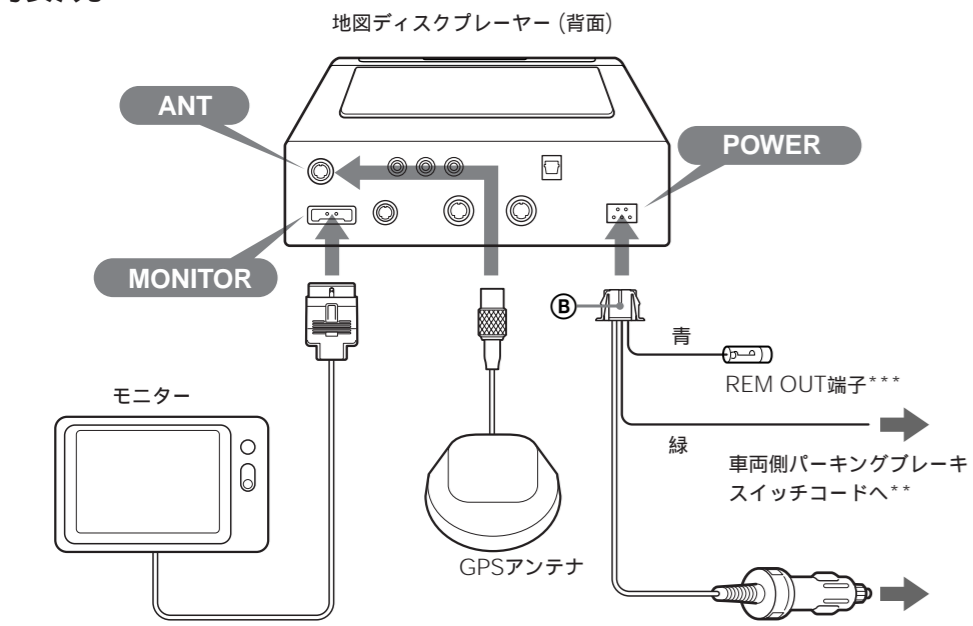


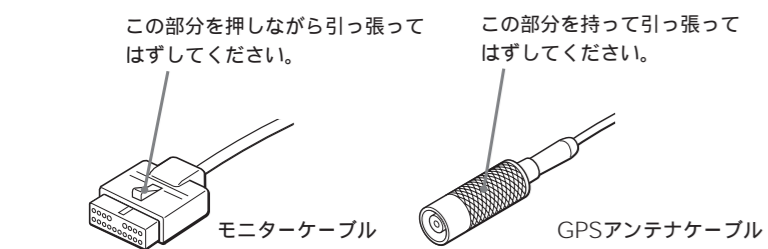
## 接続



- \* 作業中のショート事故防止のため、シガレットライターソケットへの接続は必ず最後に行ってください。
- \*\* 緑色コードは、必ず車両側パーキングブレーキスイッチコードに接続してください。接続しないと、走行メニューの表示のみで、本機の各機能が正しく使用できません。
- \*\*\* 青色コードは、本機の音声をXA-190RF(別売り)に接続して出力するときに使用します。使用しないときは、どこにも接続しないでください。

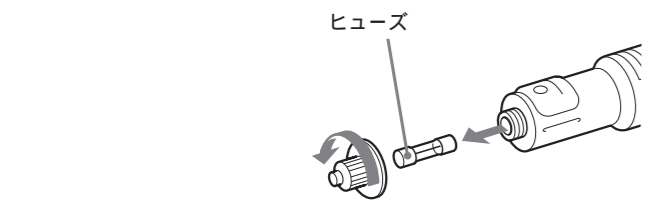
ご注意  
シガレットライターソケットの電源は、イグニッションキーをOFFにしても、OFFにならない車両があります。(シガープラグ後部のLEDが消えません。)このようなときは、必ずシガープラグを抜いてください。接続したままにしておくと、バッテリーがあがってエンジンがかからなくなります。

### コネクタをはずすとき

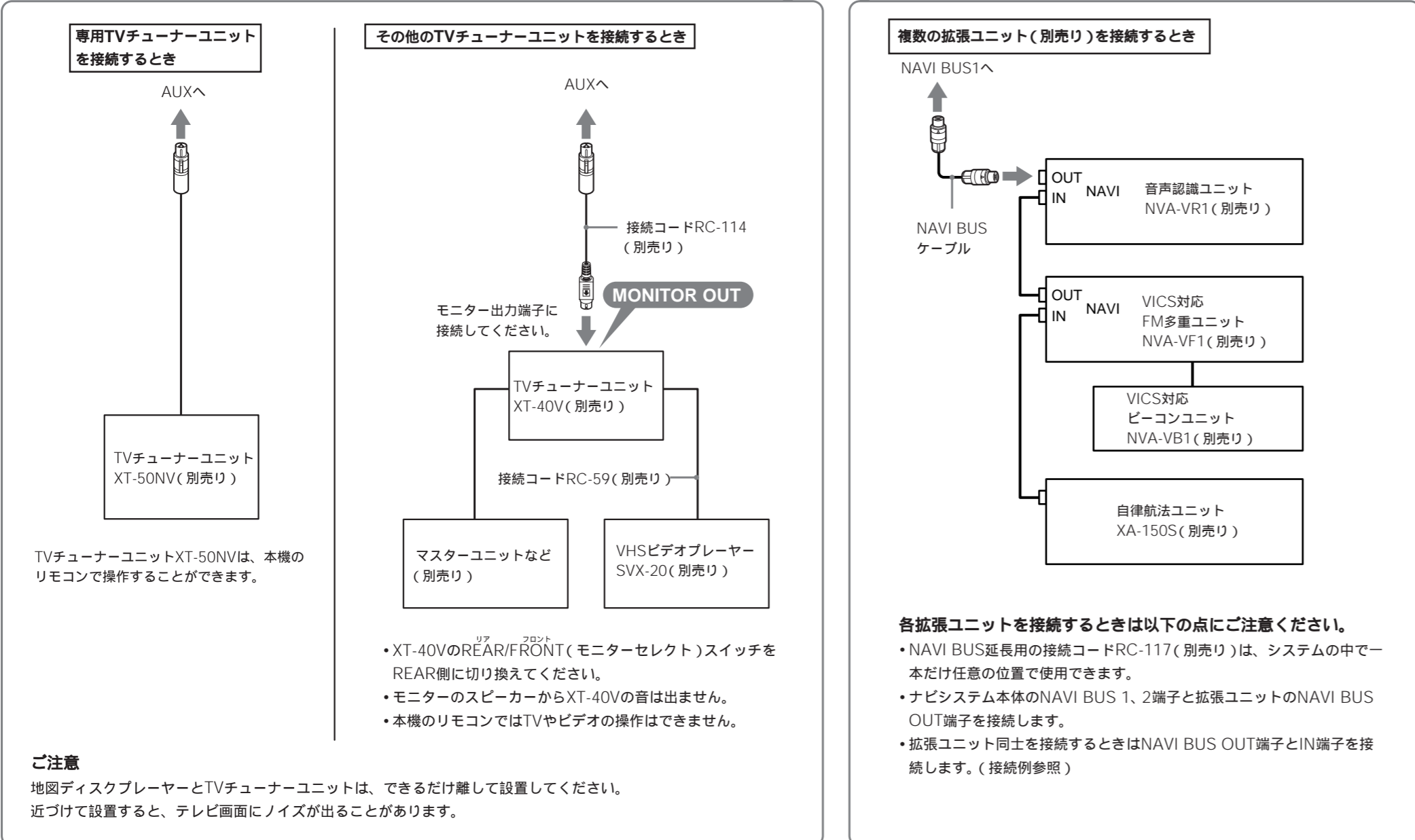
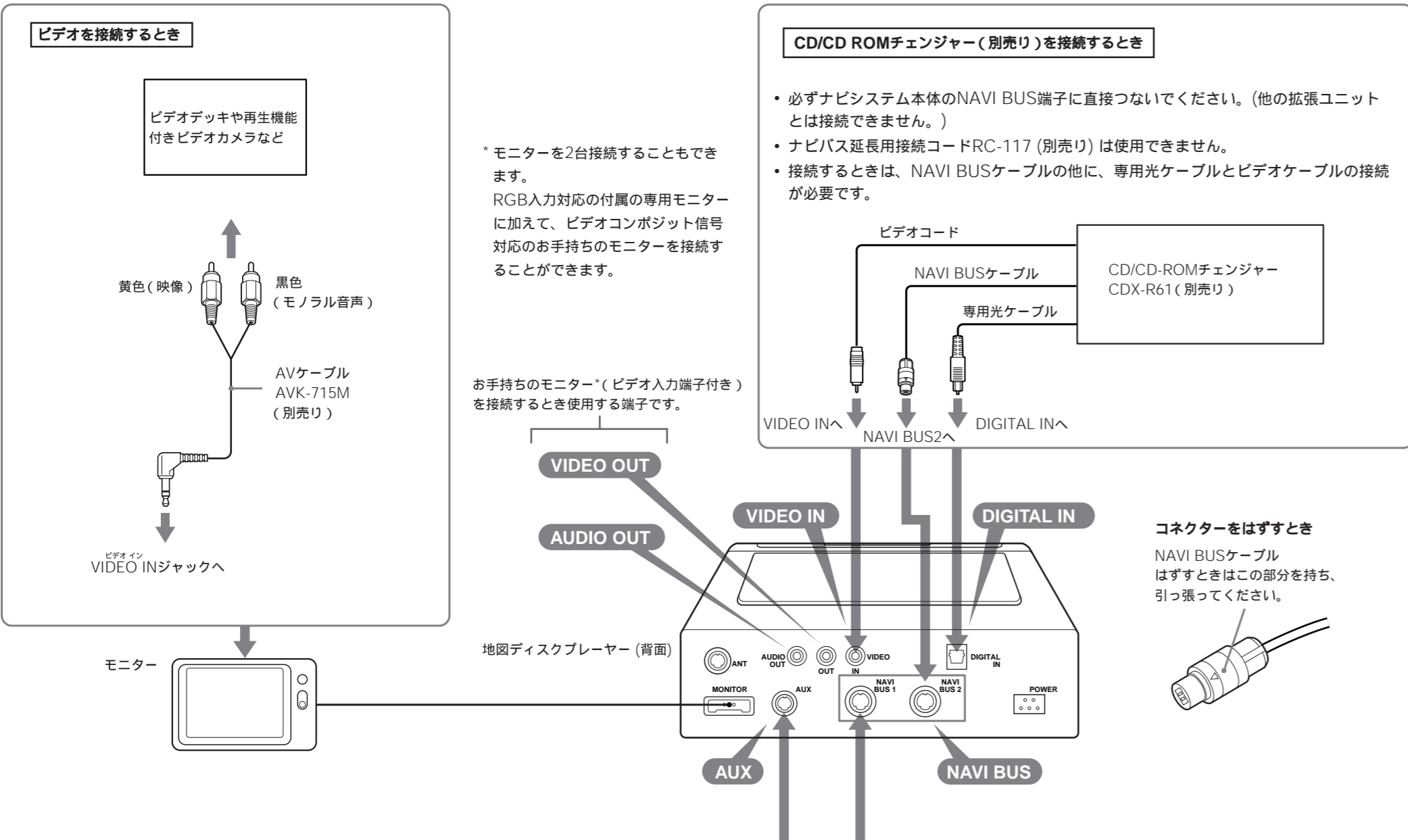


### ヒューズの交換

ヒューズを交換するときは、必ずヒューズに記してある規定容量(アンペア数)のヒューズをお使いください。規定容量以上のヒューズや針金で代用すると故障の原因となるだけでなく大変危険です。

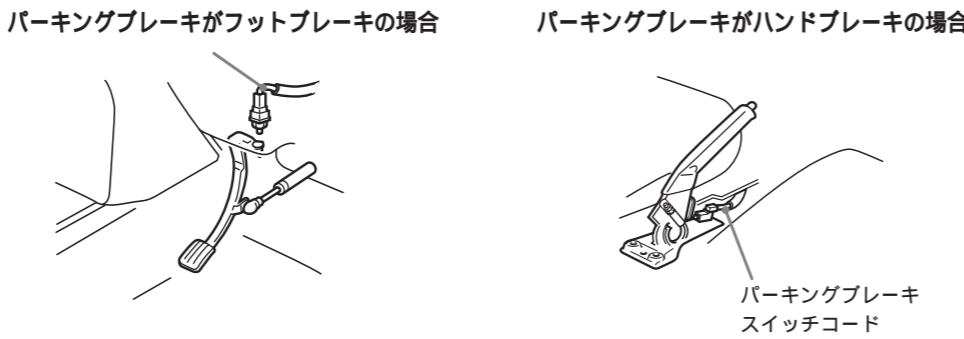


## ほかの機器と接続する

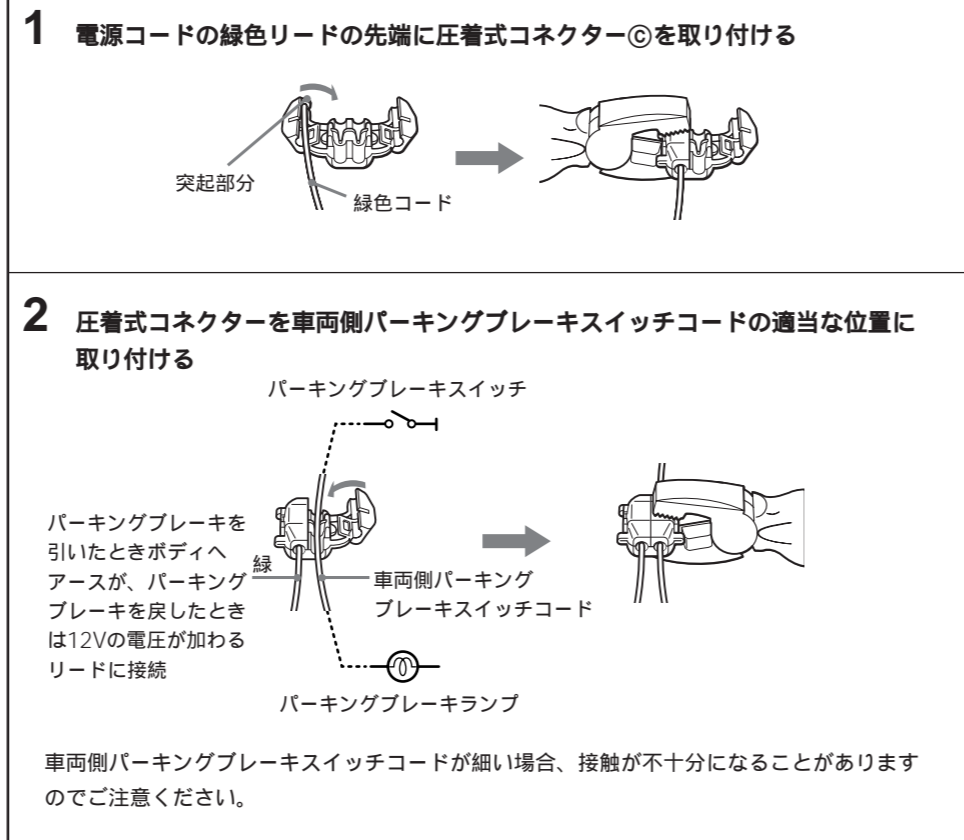


## パーキングブレーキスイッチコードの接続について

パーキングブレーキスイッチコードの位置は車両によって異なります。下図は代表的な例ですが、くわしくはお買い上げ店にご相談ください。



### 圧着式コネクタ(赤)㊦の使いかた



## 警告 安全のために

### 警告表示の意味

「取り付けと接続」および取扱説明書、製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告



火災



感電

注意を促す記号

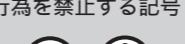


警告

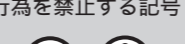
この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり自動車に損害を与えたりすることがあります。

行為を禁止する記号



禁止



分解禁止



下記の注意を守らないと**火災・感電**により**死亡や大けが**の原因となります。

本機はDC12Vマイナスアース専用です。大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車など、24V車で使用すると火災などの原因となります。



禁止



禁止



前方の視界を妨げる場所に取り付けけない  
前方の視界の妨げになると、事故やけがの原因となります。



禁止



運転操作や車体の可動部を妨げないように取り付け  
運転の妨げになる場所、車体の可動部の妨げになる場所に取り付けや配線をする、事故や感電、火災の原因となります。

- ネジやシートレールなどの可動部にコード類をはさみ込まない。
- コード類はまとめぬ。
- ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどが正しく操作できることを確認する。



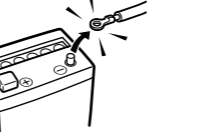
禁止



配線作業中は、バッテリーのマイナス端子をはずす  
マイナス端子をつないだまま作業をすると、ショートにより感電の原因となります。



禁止



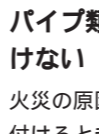
助手席用エアバッグシステムの動作を妨げないように取り付け  
動作の妨げになる場所に取り付けると、エアバッグが正常に働かず、けがの原因となります。



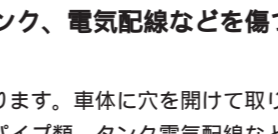
禁止



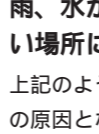
ステアリングやブレーキ系統、タンクなどにある車の性能を維持するための部品を使わない  
車体のボルトやナットを利用するとき、ステアリングやブレーキ系統、タンクなどの部品を使うと、制動不能や火災の原因となります。



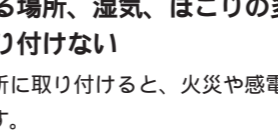
禁止



パイプ類、タンク、電気配線などを傷つけない  
火災の原因となります。車体に穴を開けて取り付けるときは、パイプ類、タンク電気配線などの位置を確認してください。



禁止



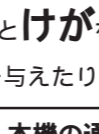
雨、水がかかる場所、湿気、ほこりの多い場所には取り付けけない  
上記のような場所に取り付けると、火災や感電の原因となります。



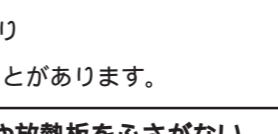
分解禁止



規定容量のヒューズを使う  
ヒューズを交換するときは、必ず電源コードのヒューズケースまたは本体に記された規定容量のアンペア数のものをお使いください。規定容量を超えるヒューズを使うと、火災の原因となります。



分解禁止



下記の注意を守らないと**けが**をしたり**自動車に損害**を与えたりすることがあります。

付属の部品で正しく取り付け  
他の部品を使うと、機器の内部を傷つける、しっかり固定できないなどで、火災やけがの原因となることがあります。

安定した場所に取り付ける  
振動の多いところや、天井などに取り付けると、製品が動く、落ちるなどにより、事故やけがの原因となることがあります。



禁止



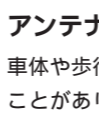
本機の通風口や放熱板をふさがない  
通気口や放熱板などをふさぐと、内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。



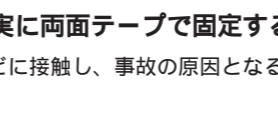
禁止



TVアンテナは車体からはみ出さないように取り付け  
歩行者などに接触し、事故の原因となることがあります。



禁止



アンテナは確実に両面テープで固定する  
車体や歩行者などに接触し、事故の原因となることがあります。

SONY

## デジタルマップナビシステム

### 取り付けと接続

お買い上げいただきありがとうございます。



電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この「取り付けと接続」および取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱い方を示しています。この「取り付けと接続」および取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。



NVX-RS1

Sony Corporation ©1997 Printed in Japan

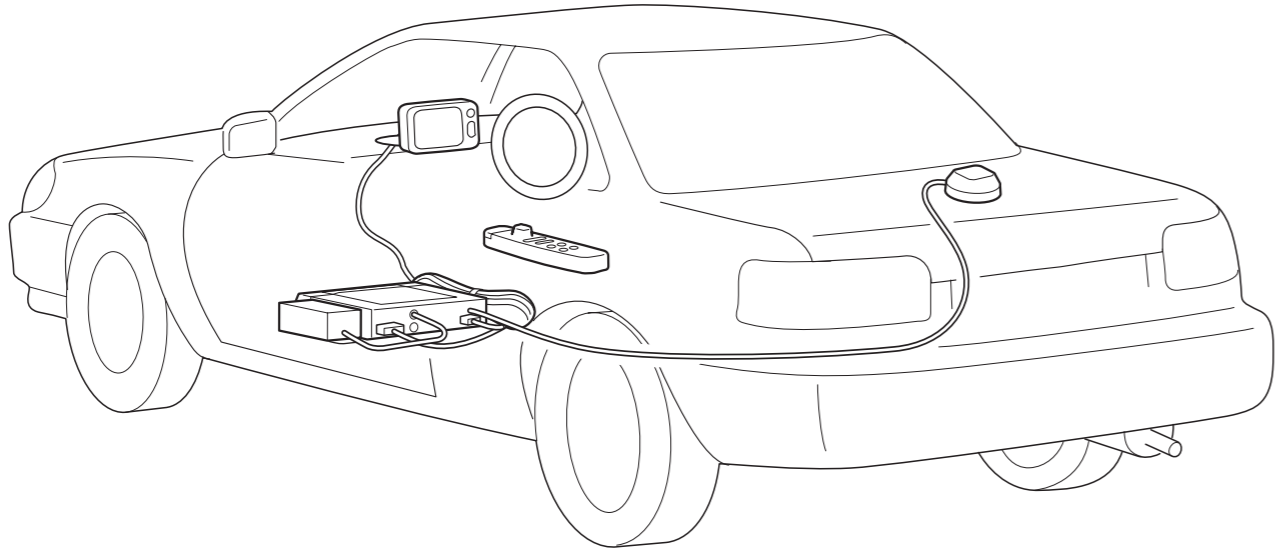


## 取り付け/接続部品



## 取り付ける前に

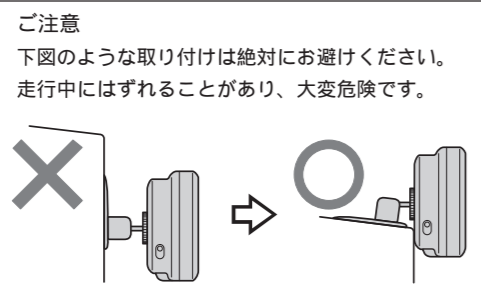
設置しようとする場所に置いてみて、操作のしやすさを確認してください。



## モニターを取り付け

### 取り付ける前に

本機のモニターは、安全性を重視して設計されており、正しい位置に確実に取り付けを行わないと、事故の原因となり大変危険です。取り付けの前に、必ず下記事項の確認を行ってください。



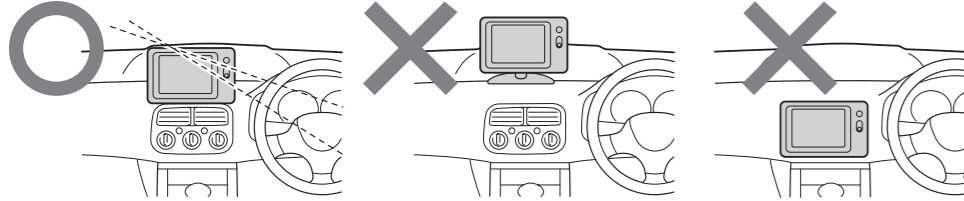
**ご注意**  
下図のような取り付けは絶対にお避けください。走行中にはずれることがあり、大変危険です。

### ご注意

- モニター、モニタースタンド、モニターコード、モニターのコードクランパーを取り付ける場所が、助手席用エアバッグシステムの動作の妨げにならないことを確認してください。
- モニターは極端に低温または高温になる場所には取り付けないでください。(キャビネットの変形や液晶パネルの故障の原因になります。)また、直射日光下の車内はかなりの高温になりますので、駐車中には別売りのモニターカバー (GM-62) などで覆うなどして、日光が直接当たらないようにしてください。

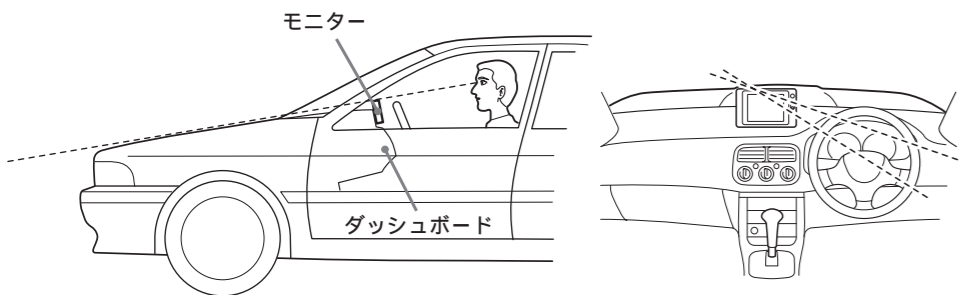
### 取り付け位置

前方視界を妨げることがなく、また運転中極端に視線を動かさずすむように、ダッシュボードのなるべく高い位置に取り付けてください。



### 取り付け位置のポイント

- 運転者から見たときに、モニターがボンネットの先端よりも上に出ない。
- 極端に視線を下げる位置に設定しない。

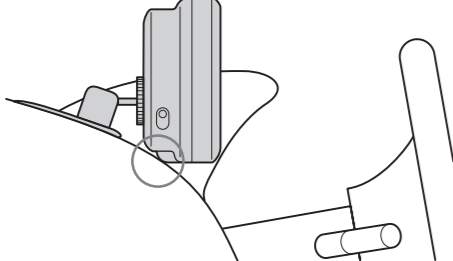


### 取り付け例

車の振動などによるぐらつきを防止するため、モニターの底面または背面がダッシュボードに接触するように取り付けてください。

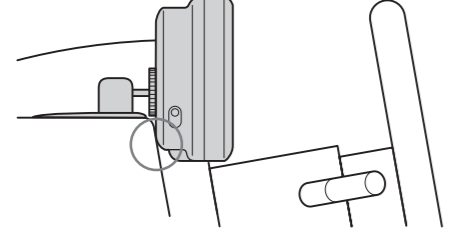
### ダッシュボードが曲面の場合

モニター底面をダッシュボードにあてて固定する。



### ダッシュボードが平面の場合

モニター背面をダッシュボードにあてて固定する。

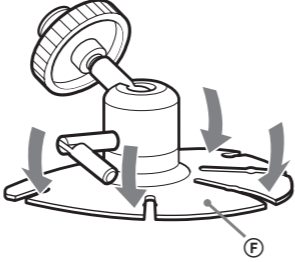


## 取り付け

「取り付ける前に」の項目をご覧のうえ、設置しようとする場所で正しい取り付けができることを確認してから取り付けを行ってください。

### 1 スタンド⑥をダッシュボードの形状に合わせて曲げる

曲げすぎて、スタンドが浮かないようにご注意ください。

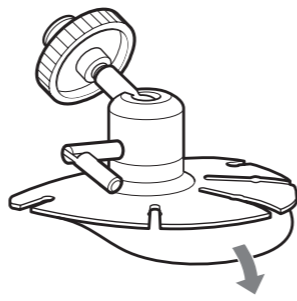


### 2 クリーニングクロス①で取り付け面の汚れを取る

### 3 両面テープをはがし、取り付ける

### ご注意

- 取り付け面の表面温度が低い(20以下)と両面テープの接着力が弱くなるので、ヒーターなどで温めてから貼り付けてください。また、24時間以上経ってからモニターの取り付けを行ってください。
- 取り付けたあとに両面テープをはがすと、接着力が弱くなり危険です。十分に位置を決めてから確実に取り付けてください。
- 取り外すときは、取り付け面を温めてからゆっくりはがしてください。



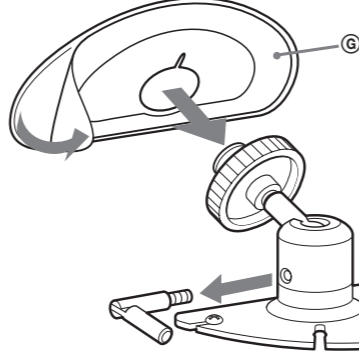
### 4 ビス④で固定する



### ご注意

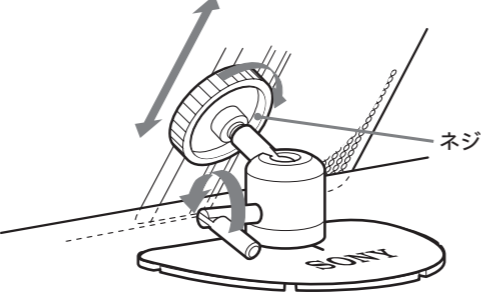
取り付けた状態でビスの先端がダッシュボード内部の配線などに当たっていないことを確認してください。

### 5 スタンドカバー⑦を取り付け板部分に接着する



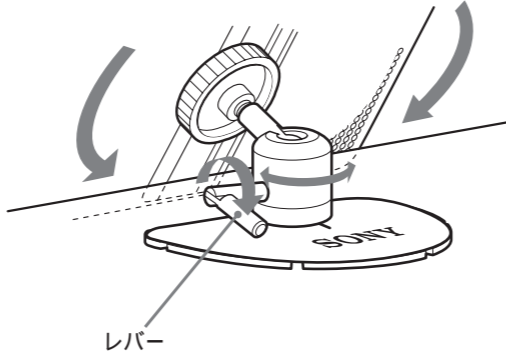
### 6 モニター背面のみぞにスタンドのネジを差し込み、高さを決める

車の振動によるぐらつきを防止するため、モニターの背面がダッシュボードにあたるように高さを調節してください。調節後はネジを締めて固定します。



### 7 レバーをゆるめて角度を調節する

調節後はレバーをしっかり締めて固定します。



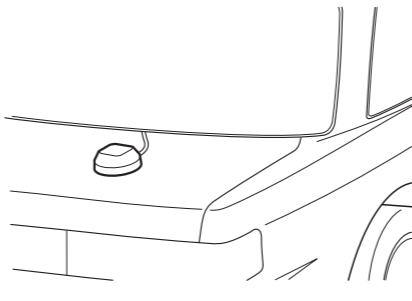
## GPSアンテナの取り付け

### 車外に取り付ける場合

#### 取り付け位置のポイント

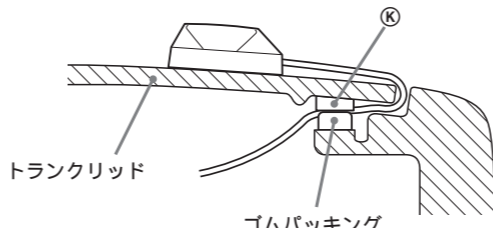
- トランクなどの上に取り付けます。
- できるだけGPS衛星からの電波が遮られない場所に水平に取り付けてください。

### 1 トランクリッドなどの上に取り付ける



### 2 トランクリッドの裏側に、クッションを取り付ける

雨水がアンテナコードを伝わって車内に侵入しないように、トランクリッドを閉めたときに、ゴムパッキングの上にクッション⑧が当たるように取り付けてください。



### アルミやFRPボディの車に取り付ける場合

アルミやFRPボディの車には磁石で取り付けられません。別売りのGPSアンテナブラケットGM-57をご使用ください。

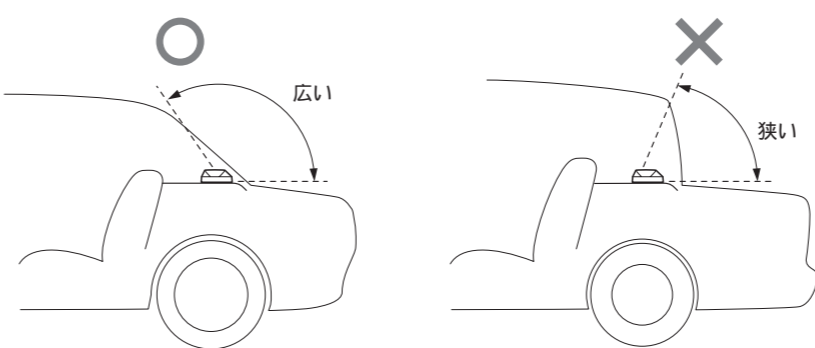
### ご注意

- アンテナコードを車外でたるませたままにしないでください。
- アンテナコードを固定するときは、必要に応じてコードクランパー⑨をご使用ください。
- アンテナを取りはずすときにアンテナコードを引っ張らないでください。
- GPSアンテナ裏面の透明シールは、車体の塗装面を保護するためのものですので、はがさないでください。

### 車内に取り付ける場合

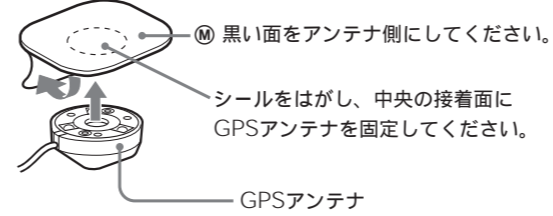
#### 取り付け位置のポイント

- リアレイに取り付けます。
- 平らな位置に、アンテナが水平になるように取り付けてください。



できるだけ角度が大きくなるような場所に取り付けてください。また、GPS衛星からの電波を通るものがない場所を選んで取り付けてください。車内に通ずる場所がない場合は、車外のトランクの上などに付けてください。

### 1 アンテナに取り付け板⑩を取り付ける



GPS衛星からの電波を効率よく受信するために、必ず取付け板⑩をお使いください。

### 2 両面テープで固定する



### アンテナの塗装について

アンテナは車のボディーカラーに合わせて塗装できますが、金属粉が含まれる塗料(メタリック系の塗装など)は、受信感度の低下や受信不能の原因になるため使用しないでください。また塗装するときにアンテナを分解しないでください。

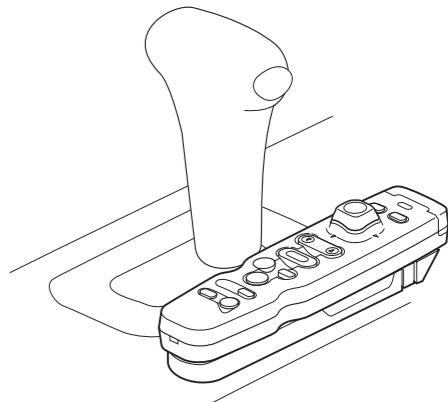
## リモコンの取り付け

### 取り付け位置のポイント

シフトレバーの脇などの操作しやすい場所に固定してください。

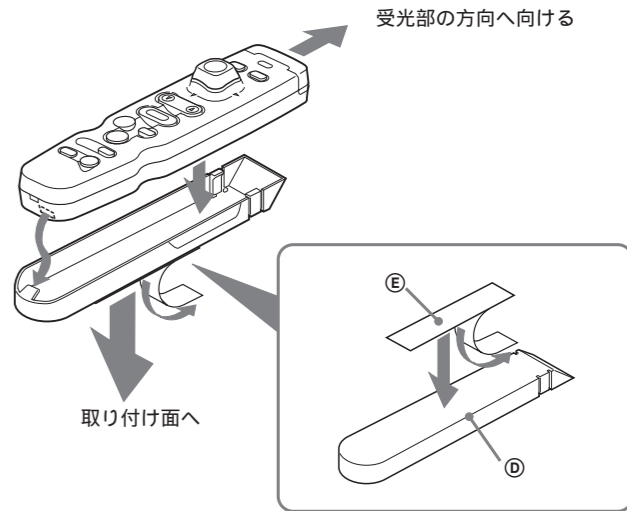
### ご注意

- 次のような場所への取り付けは避けてください。
- シフトレバーや、サイドブレーキなどの操作の妨げになるところ。
- 運転席、助手席のシートの前後、上下など可動部の妨げになるところ。



### リモコンと受光部が向き合うように、両面テープ⑬で取り付ける

クリーニングクロス⑩で、取り付け面をきれいにしてからリモコンホルダー⑭を取り付けてください。



### ご注意

- 直射日光下ではリモコンの信号が受信されにくくなる場合があります。このようなときは、受光部にリモコンを近づけて操作してください。
- リモコンはダッシュボードの上やハンドルの上など、直射日光の当たる場所に取り付けしないでください。熱により、リモコンが変形するおそれがあります。

## 地図ディスクプレーヤー - の取り付け

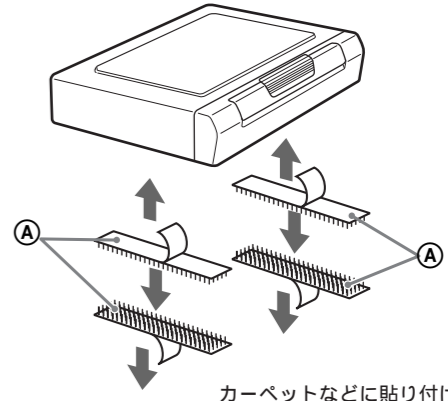
### 取り付け位置のポイント

横置き位置で水平から20°以内の傾斜になるように、助手席の下などで、地図ディスクの出し入れが容易なところに取り付けてください。(縦置きにした場合、動作の保証はできません。)

トランクルームに取り付ける際は、以下の別売り延長コードをご使用ください。

- モニター用延長コード RC-116M
- 電源用延長コード RC-118P

### マジックテープ⑮でカーペットなどに取り付け



### ご注意

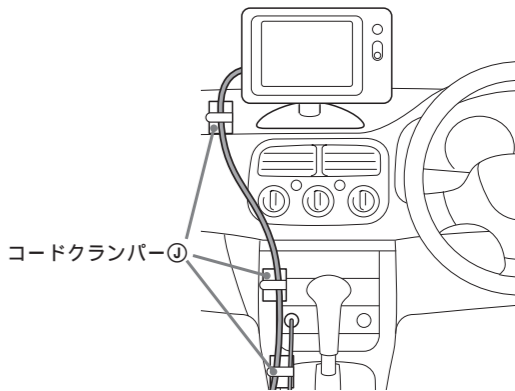
- 次のような場所への取り付けは避けてください。
- 高温になるところ。
- 直射日光が当たる場所、ヒーターの熱風を直接受ける場所など、温度が極端に高いところ。

## 取り付けと接続が終わったら

### コードの処理について

取り付けと接続が終わったら、コードは運転の邪魔にならないようにまとめてください。コードがシフトレバーなどにかかると、非常に危険です。

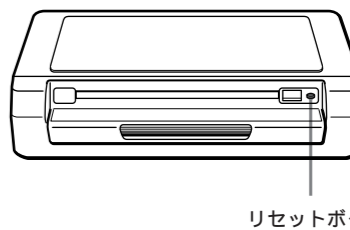
助手席側にコードクランパー⑯で固定してください。



### ご注意

ドアやシート下のレールにコードがかからないようにしてください。コードがはさまって断線してしまうおそれがあります。

- ブレーキランプやライト、ホーン、ウィンカーなど、全ての電装品が正しく動作することを確認してください。
- 車のキーをACCまたはONの位置にして、地図ディスクプレーヤーのリセットボタンをポールペンの先などで押してください。



リセットボタン